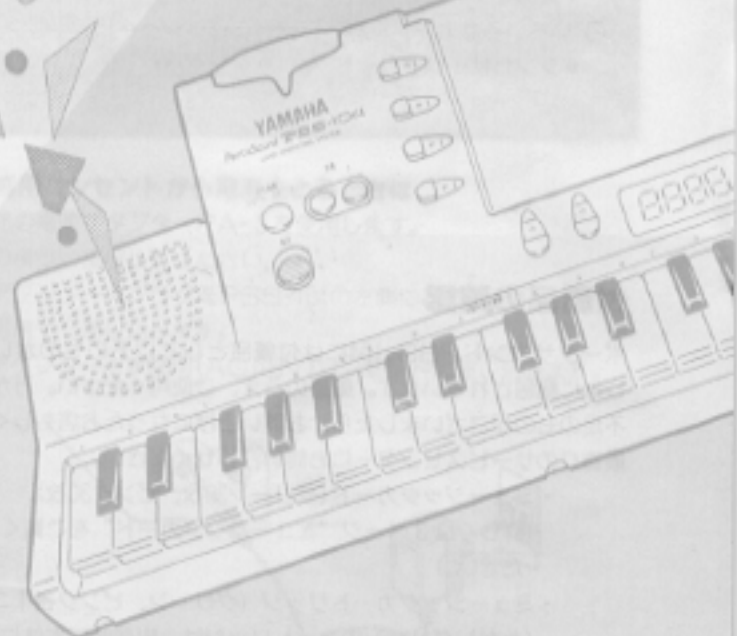
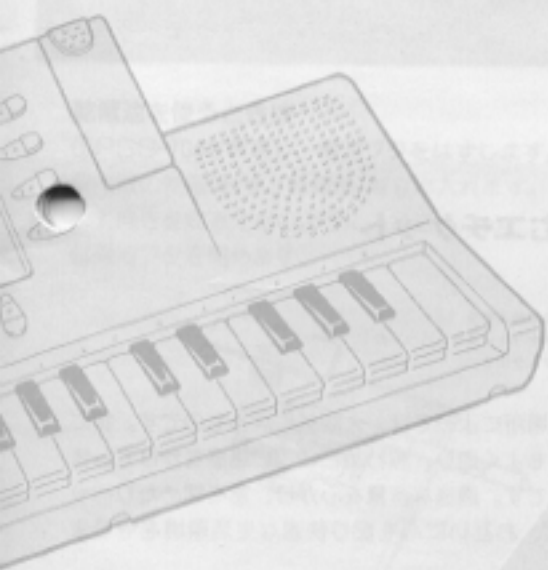


# PortaSound

## PSS-104



**YAMAHA**

**取扱説明書**

この取扱説明書はカードといっしょにご利用ください

## ●おうちの方へ

このたびは、ヤマハポータサウンドPSS-104をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。PSS-104は、ヤマハがこれまでの楽器づくりの経験をいかし、小さなお子さまへの音楽の出発点として贈る、カードを使った鍵盤楽器です。豊富な音色とリズムスタイル、そして遊びながら音感を育てるクイズカードやゲームカード。盛りだくさんの内容でカードが子供たちを楽しい音楽の世界へと案内します。

## 目次

	ページ		ページ
ご使用になる前に……………	1	●アルバムカード……………	16
●電源の準備……………	1	●パーカッションカード……………	16
各部の名称とはたらき……………	2	●カラオケコンテストカード……………	17
はじめに……………	4	●コードレッスンカード……………	17
デモ演奏を聞こう……………	6	自動伴奏モード……………	18
ミュージックカードを使おう……………	7	●アルファベットの音名になれよう……………	18
A 演奏カード……………	8	●#、bの付いた音名の位置は?……………	18
●音色カード……………	8	■〈10人のインディアン〉を	
●リズムスタイルカード……………	9	シングルフィンガーコードで伴奏する……………	19
●ソングカード……………	10	■コード一覧表……………	20
B クイズ&ゲームカード……………	11	●シングルフィンガーコード一覧表……………	20
●ミュージックアラウンドザワールドクイズカード……………	12	●シングルフィンガーコードの押さえ方……………	20・21
●メロディクイズカード……………	12	●フィンガードコード一覧表……………	21
●リズムスタイルクイズカード……………	12	■〈線路は続くよどこまでも〉を	
●リズムクイズカード……………	13	フィンガードコードで伴奏する……………	22
●作曲家クイズカード……………	13	もっとパワーのある音で演奏したいときは……………	23
●楽器クイズカード……………	14	オプション(別売品)のご紹介……………	23
●音あてゲームカード……………	14	おかしいな?と思ったら……………	24
C いろいろなカード……………	15	仕様……………	25
●シンセサイザーカード……………	15	アフターサービスと保証	

## 付属品の確認

ポータサウンドPSS-104には付属品として以下のものがいっしょに梱包されています。確認のうえ、ご使用ください。万が一不足のものがございましたら、お買い上げになったお店もしくは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

- ・ミュージックカード(グリーン30枚、ピンク30枚)  
(詳しくは3ページ“ミュージックカード”をご覧ください。)
- ・ミュージックカートリッジ(グリーン、ピンク各1コ)  
(ただしグリーンのカートリッジは、出荷時に本体にセットされています。)
- ・単3乾電池6本
- ・取扱説明書
- ・保証書

◆この取扱説明書はお読みになったあとも、保証書と共に大切に保管してください。

## 音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会  
「音のエチケット」キャンペーンの  
シンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

# ご使用になる前に

## 使わないときは……



- 電源スイッチを切ってください。
- 電源アダプターを使用したときは、家庭用コンセントから抜いてください。
- 長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。

## こんな所には置かないで……



- ストーブなど暖房器具の近く、直射日光の当たる場所、日中の車の中など、極端に温度が高くなる場所。
- 湿気の多いところ、ホコリの多いところ。

## 近くで使わないで……



- ラジオやテレビの近くで使うと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

## 乱暴に扱わないで……



- 落としたり、物をぶつけたり、上に物を置かないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

## 美しく保つために……



- 汚れは、柔らかい布でカラぶきしてください。また汚れのひどいときは、少し水で湿らせた布でふいてください。(アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。)
- ビニール製品を上に置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

## ミュージックカード、カートリッジについて……



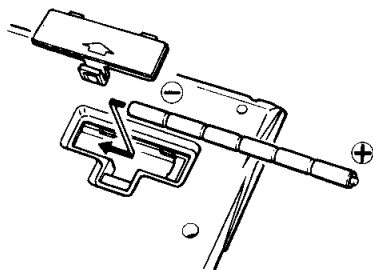
- PSS-104では付属のミュージックカード及びミュージックカートリッジのみがお使いになれます。
- カード裏面のバーコードを楽器が読み取りますので、曲げたり、折ったり、汚したりしないでください。
- 温度や湿度の高くなる所には置かないでください。
- カード及びカートリッジの紛失には充分注意してください。カード及びカートリッジは有償にてのお取り扱いとなります。

## 電源の準備

PSS-104は電源として、乾電池と家庭用コンセントの両方を使うことができます。家庭用コンセントをご使用になる場合には別売の専用アダプターPA-3をお使いください。

### 乾電池を使うときは

- ①PSS-104を裏返し、電池プタをはずします。
- ②市販の乾電池(単3乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて向きを間違えないように入れてください。
- ③電池プタを閉めます。

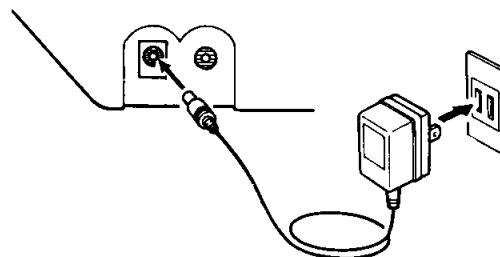


◆乾電池はめやすとして5時間(連続デモ演奏の場合)ご使用になれますが、お早めにお取り替えいただくことをおすすめいたします。電池が少なくなると、音がひずんだり、演奏やリズムなどが途中でストップして、電源を入れた直後の状態にもどったりします。このようなときは、6本とも新しいものと交換してください。

乾電池のお買い求めの際は、「単3乾電池6本」とご指定ください。

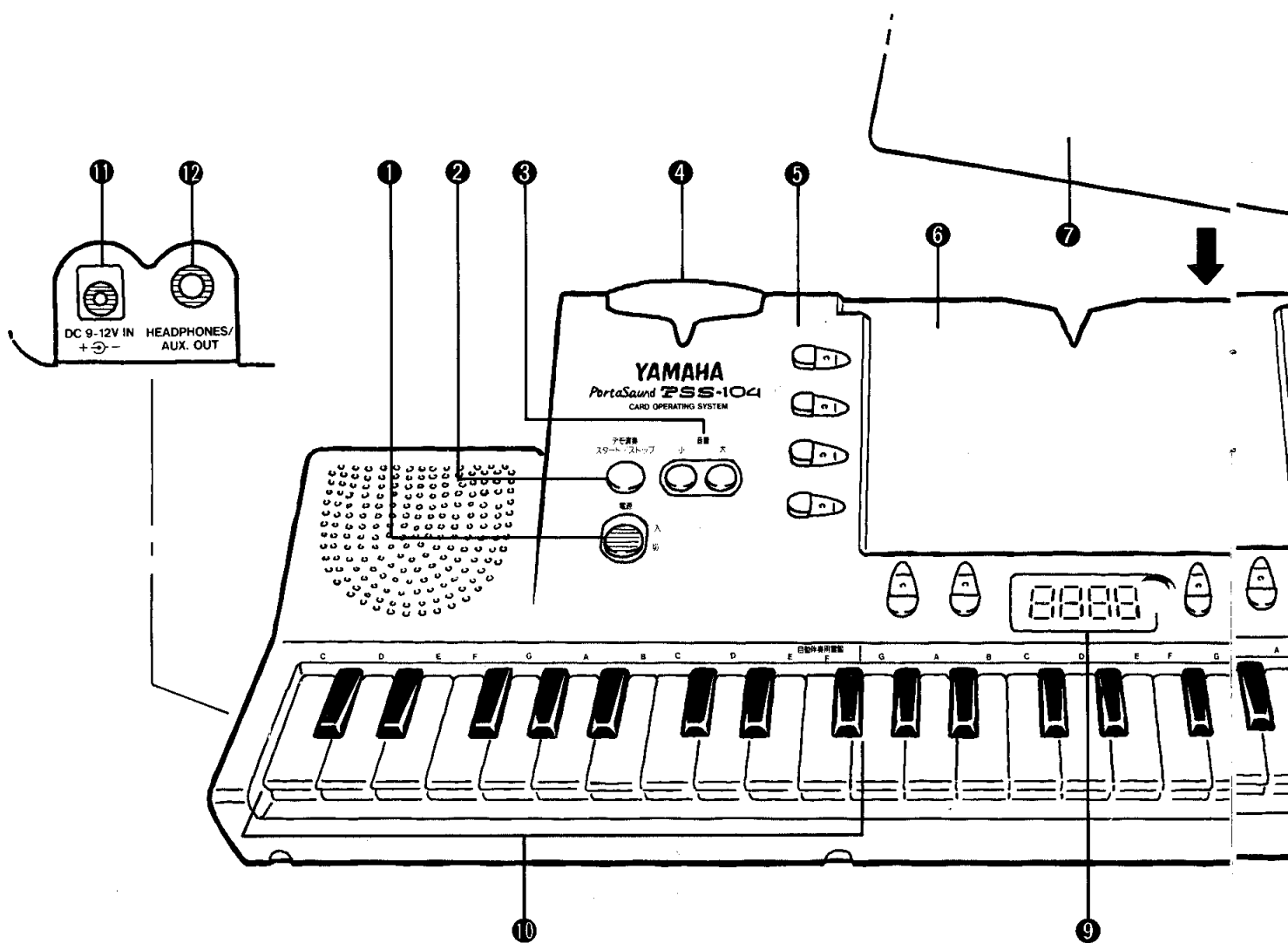
### 家庭用コンセントから電源をとるときは

- 別売の電源アダプターPA-3を使用します。図のように接続してください。
- ①アダプターのプラグをPSS-104の左側にある電源アダプター用端子へ差し込みます。
  - ②アダプターを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。



◆電源アダプターをご使用になる場合は、必ず別売の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプター使用による障害は、保証期間内でも保証できない場合がございますので、充分ご注意ください。

# 各部の名称とはたらき



## ①電源スイッチ (切/入)

上へスライドさせると電源が入ります。  
下へもどすと電源が切れます。

## ②デモ演奏ボタン (スタート/ストップ、→ 6 ページ)

ボタンを押すとデモ曲が次々と演奏されます。演奏を止めるときには再度このボタンを押します。

◆ミュージックカートリッジが差し込まれていないとデモ曲は演奏されません。

## ③音量ボタン (大/小)

スピーカーから出る音の大きさを調節します。  
(マイクのボリュームは常に一定にセットしてありますから、かえることはできません)

## ④ミュージックカートリッジ (→ 6 ページ)

グリーンとピンク、2種類のカートリッジがあります。いつもどちらかのカートリッジを楽器本体に差し込んでおきます。

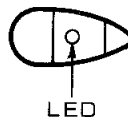
## ⑤機能ボタン

カードインのまわりには全部で12の機能ボタンが配置されています。機能ボタンはカードごとにいろいろな働きをします。たとえば、音色やリズムスタイルを選んだり、テンポをかえることができます。

◆各カードの「機能ボタン」の使用方法はカードの裏面、または、本書 8 ページからのカードの説明をお読みください。

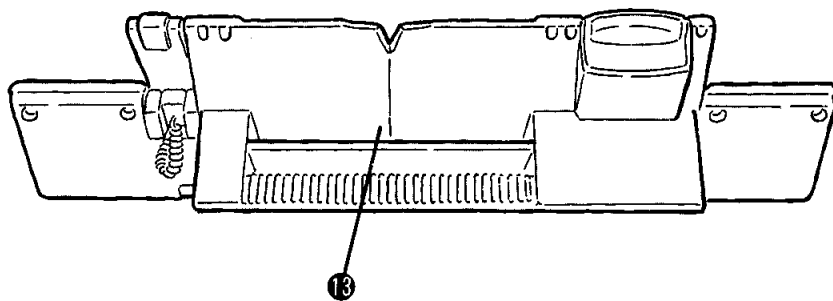
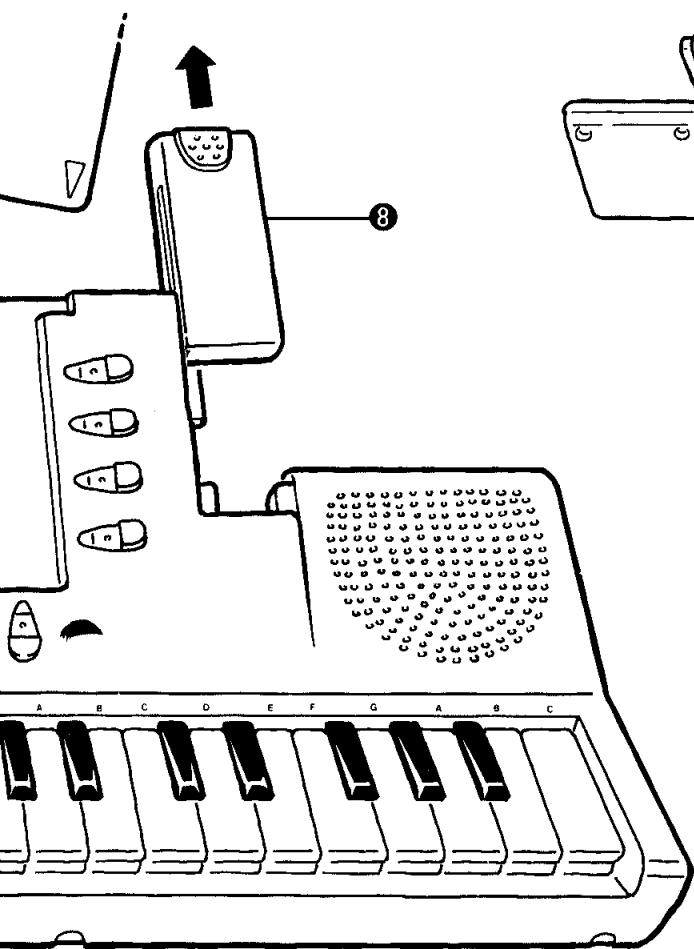
## ●LED

機能ボタンには小さなライト(LED)が1つつ付いています。LEDはボタンが選ばれているときに点灯します。



## ⑥カードイン (→ 7 ページ)

ミュージックカートリッジと同じ色のミュージックカードを矢印の方向に止まるまで差し込みます。正しく差し込まれると“ピンポン”と鳴ります。正しく差し込まれなかったときは“ブー”と音がします。そのときは、もう一度カードを差し込み直してください。



### ⑦ミュージックカード (→5ページ)

グリーンのカードが30枚、ピンクのカードが30枚、合計60枚のミュージックカードです。好みのカードでプレイしてください。

#### 【グリーンカード】

- 音色カード……………7枚
- リズムスタイルカード……………3枚
- ソングカード……………15枚
- メロディクイズカード……………1枚
- リズムスタイルクイズカード……………1枚
- リズムクイズカード……………1枚
- 作曲家クイズカード……………1枚
- カラオケコンテストカード……………1枚

#### 【ピンクカード】

- 音色カード……………2枚
- シンセサイザーカード……………1枚
- リズムスタイルカード……………1枚
- ソングカード……………15枚
- アルバムカード……………3枚
- ミュージックアラウンドザワールドクイズカード……………1枚
- メロディクイズカード……………2枚
- リズムクイズカード……………1枚
- 楽器クイズカード……………1枚
- 音当てゲームカード……………1枚
- パーカッションカード……………1枚
- コードレッスンカード……………1枚

### ⑧マイク

電源を入れるとマイクが使えるようになります。

- マイクの音の大きさはいつも同じです。音量ボタンで音の調節はできません。
- マイクの上にももの(楽譜や取扱説明書など)のをせたり、マイクを裏返しに置かないでください。スピーカーから『ブーン』という音がして、スピーカーの故障の原因になる心配があります。

#### マイクの取りはずし方、取り付け方

マイクは本体横の“レール”に沿って取り付けられています。マイクをご使用になるときは、このレールに沿って無理な力を加えないように図の矢印方向に取りはずしてください。また、使い終わりましたら、マイクの“みぞ”をレールに合わせて図の矢印とは反対方向に止まるまで差し込んでください。

### ⑨ディスプレイ

カードごとにトランスポーズ、テンポ、得点などの表示をします。差し込まれたカードにディスプレイの表示を示す名称が書かれています。

### ⑩自動伴奏用鍵盤 (→18ページ)

自動伴奏をするときに押さえる鍵盤です。ソングカード、リズムスタイルカードには自動伴奏機能が付いています。

### ⑪DC9-12V IN (電源アダプター用端子、→1ページ)

別売の電源アダプターPA-3のプラグをここに差し込みます。電源アダプターを使われるときは、1ページの“家庭用コンセントから電源をとるときは”をよく読んでお使いください。

### ⑫HEADPHONES/AUX.OUT (ヘッドホン/AUX出力端子)

ヘッドホン(別売)のプラグをここに差し込みます。プラグが差し込まれると本体スピーカーからは音は出ません。

一人で演奏を楽しむときや、周囲に迷惑をかけがちな夜間の練習にヘッドホンを使うと便利です。

そのほかに、この端子を使ってステレオに接続することができます。ご使用になられる方は、23ページの“もっとパワーのある音で演奏したいときは”をお読みください。

### ⑬カードホルダー

楽器のうしろ側にミュージックカードを入れるホルダーがあります。

使わないカードはここにに入れて、紛失にご注意ください。

# はじめに

このPSS-104は10種類、60枚のミュージックカードを持っていますから、実力ややりたいことに合わせてカードを選ぶことができます。

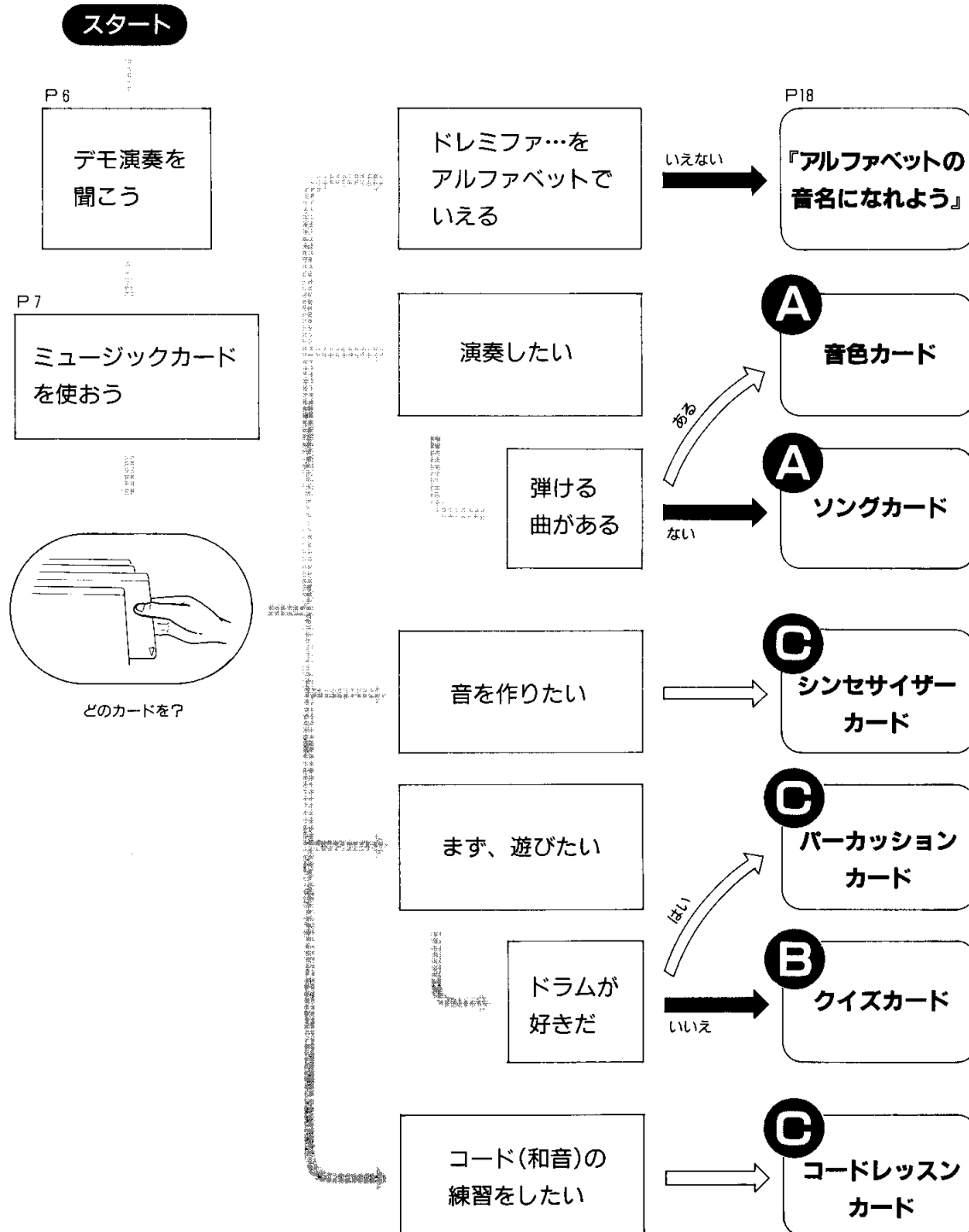
60枚のカードはグリーンとピンクに色分けされていますが、この説明書では、カードの内容に合わせて大きく3つのグループに分けてみました。

Aのグループは演奏のためのカード。

Bのグループはクイズとゲームを中心としたカード。

CのグループはA、B以外のいろいろなカードが入っています。

まずは、下の診断チャートを参考にして、カードを選んでみてください。



## A 演奏カード

- 音色カード**  
(→8ページ) 9枚72音色の中から好きな音色を選択してください。  
オーケストラで使われる弦楽器や管楽器、そして鍵盤楽器などの本格的なものから、UFO(ユーホー)やヘリコプターの音までいろいろ選べます。
- リズムスタイルカード**  
(→9ページ) 4枚のカードに全部で20のリズムスタイルが入っています。  
このカードはリズムスタイルを選べるだけでなく、自動伴奏モードやイントロ、フィルイン機能を使って、リズムスタイルに合わせて伴奏が楽しめます。
- ソングカード**  
(→10ページ) 1枚のカードに1つの曲が入っています。グリーンとピンクのカードを合わせて30枚、30のソングが選べます。曲をおぼえながらキーボードを弾きこなそうというカードです。  
最初は曲を聞いてください。  
次にマイナスワンボタンでメロディラインを消して、自分でメロディを演奏しましょう。  
そして、自動伴奏モードを使って伴奏も弾いてみましょう。初めはシングルフィンガーコードで、曲になったらフィンガードコードを使って伴奏しましょう。

## B クイズ&ゲームカード

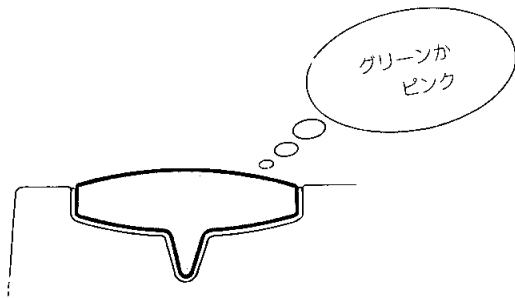
- クイズカード**  
(→11ページ) 6種類のクイズカードです。  
世界の音楽やクラシックの曲を当てたり、オーケストラの楽器の音を当ててください。
- ゲームカード**  
(→14ページ) スピーカーから出た問題の音がどの音が鍵盤を使って当てるゲームです。  
ゲームのレベルをいろいろかえて「ファンファーレ」目指してガンバってください。

## C いろいろなカード

- シンセサイザーカード**  
(→15ページ) 6つのパラメーターを使って音を作ります。  
これはと思われるオリジナルができたならパラメーターの値を書き留めておこう。
- アルバムカード**  
(→16ページ) 楽聖ベートーヴェン、音楽の父バッハ、天才モーツァルトの代表曲を聞いてください。  
3人のプロフィールは13ページを見てください。
- パーカッションカード**  
(→16ページ) このカードを使うと鍵盤がパーカッション(ドラムセット)になります。  
リズムに合わせて鍵盤をたたこう。メロディを弾くパートも作れます。
- カラオケコンテストカード**  
(→17ページ) マイクやキーボードを使ってカラオケコンテストにチャレンジしてください。  
歌は(曲も)はっきりとメリハリを付けて歌いましょう。
- コードレッスンカード**  
(→17ページ) CからBまでの12音のコード(メジャー、マイナー、セブンスコード)練習ができます。  
正しいコードが弾けるまで次には進めません。指の形に注意して弾いてみましょう。

# デモ演奏を聞こう

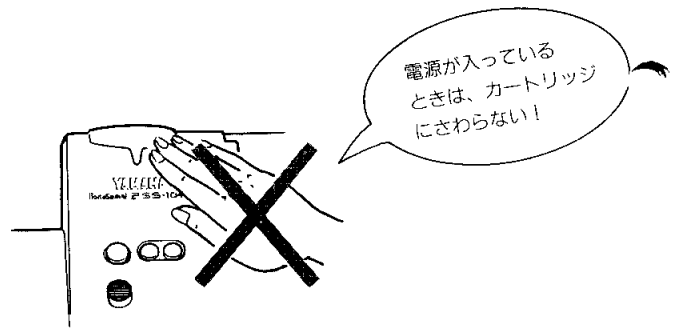
## 1 ミュージックカートリッジを確認する。



PSS-104はデモ演奏がミュージックカートリッジに入っています。グリーンのカートリッジにはグリーンのソングカードの15曲が、ピンクのカートリッジにはピンクのソングカードの15曲がデモ演奏用の曲として入っています。必ずどちらかのカートリッジを選んでデモ演奏をお聞かせください。

- ◆カートリッジがセットされていないとデモ演奏を鳴らすことができません。
- ◆カートリッジを交換するときは、電源を切ってから交換してください。
- ◆故障の原因となりますから、電源が入っているときに、カートリッジを抜いたり、差したりしないようにご注意ください。

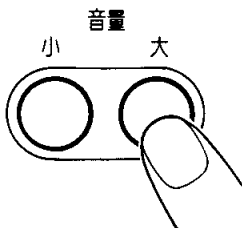
## 2 電源を入れる。



## 3 デモ演奏スタート

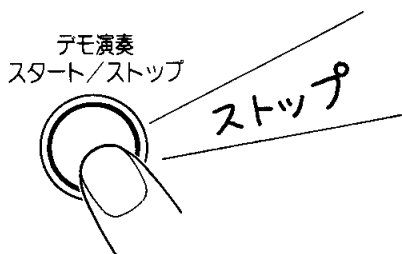


## 4 音量を調節する



デモ演奏の音の大きさは音量ボタンで調節します。

## 5 ストップ



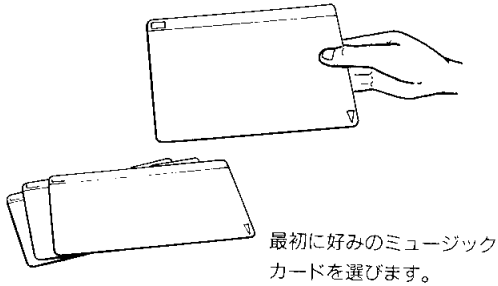
デモ演奏を止めるときはもう一度デモ演奏ボタンを押してください。

- ◆デモ演奏のみお聞きになる場合にはソングカードなどのカードをカードインに差し込む必要はありません。

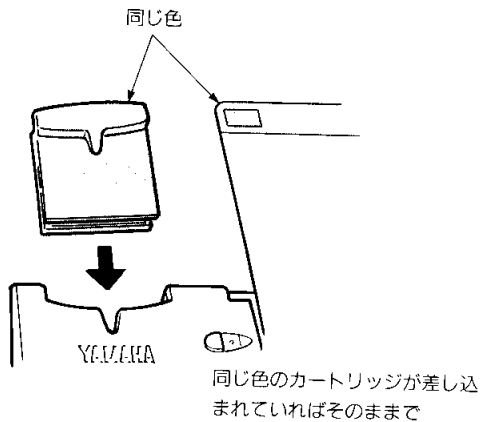


# ミュージックカードを使おう

## 1 ミュージックカードを選ぶ



## 2 カードと同じ色のカートリッジを差し込む



ミュージックカートリッジの中には、音色や曲のデータが入っています。グリーンのカートリッジにはグリーンのカード用のデータが、ピンクのカートリッジにはピンクのカード用のデータが入っています。

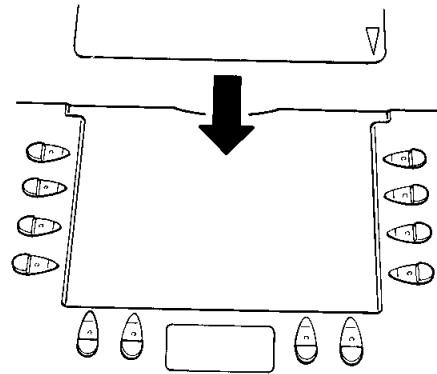
だから、ピンクのカードではグリーンのカートリッジのデータは使えません。同じように、グリーンのカードではピンクのカートリッジのデータは使えません。

## 3 電源を入れる



- ◆カートリッジがない状態で電源を入れると、ディスプレイに4つの“-”が表示されます。(“ブー”音は鳴りません)電源を一度切って、カートリッジを差し込んでから電源を入れてください。

## 4 カードを差し込む



カードを一定の速さで、途中で止めないように差し込みます。

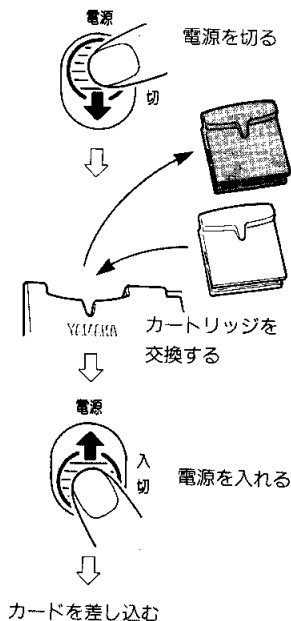
## 5 ピンポーンと鳴る

カード裏のバーコードが正しく読まれると“ピンポーン”と鳴って、楽器が使えるようになった合図をします。

次のような場合には“ブー”と鳴りますから、もう一度正しくカードを差し込みなおしてください。

- 差し込む途中でカードを止めたり、差し込む速さをかえた場合。
- 差し込まれたカードとカートリッジの色がちがう場合。(ディスプレイに4つ“-”が並ぶ)
- カードが入ったまま電源を入れたとき。(カード裏面のバーコードが汚れている場合には、カードをきれいにしてから差し込んでください。)
- ◆カードを抜くと設定された内容はすべて消えて、カードを入れない状態(初期設定)にもどります。

## 6 ちがう色のカードにかえるときは

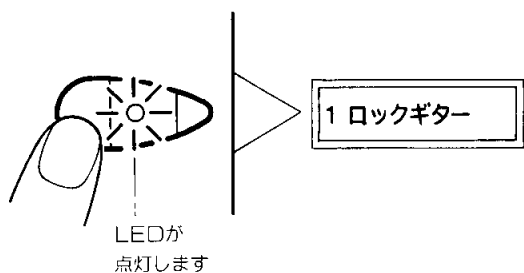


グリーンのカードからピンクのカードへ、または、ピンクのカードからグリーンのカードへと色の違うカードを使うときは、必ず電源を切ってカートリッジを交換してから電源を入れなおしてください。

## 音色カード

### 1 音色を選ぶ

1～8のボタンを押して音色を選びます。  
選ばれた音色のLEDが点灯します。



### 2 トランスポーズ機能

トランスポーズボタンを押して鍵盤の位置と実際に出る音の高さをかえることができます。「#」ボタンは高く、「b」ボタンは低く実際に出る音を設定します。

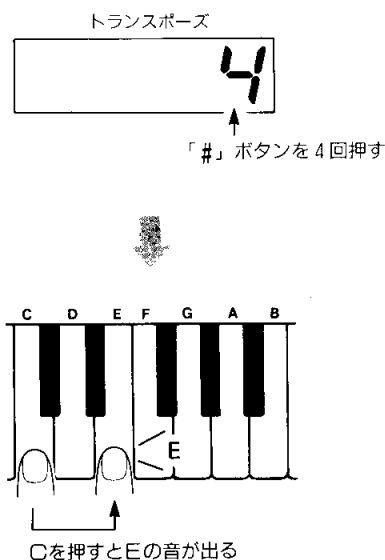
この機能は楽譜どおりに弾いても高さをかえて音が出るため、音程のちがう他の楽器といっしょに演奏したり、声の低い人や高い人に合わせて伴奏するのに便利です。

また、特別な使い方として、鍵盤の最低音より低い音や最高音より高い音を出すこともできます。

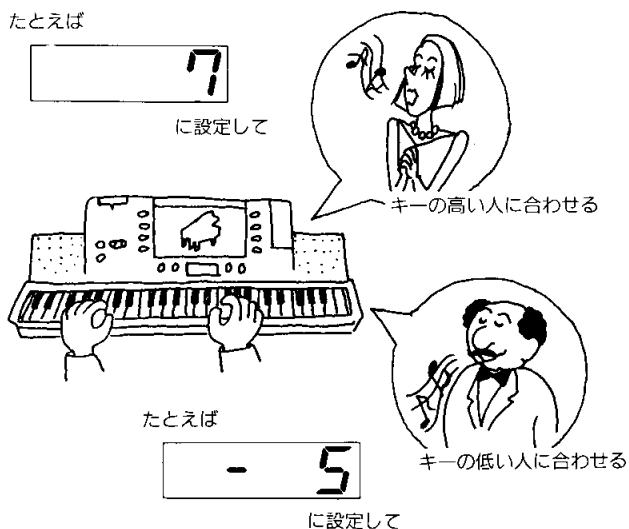
設定範囲は-12～12までで1目盛り半音ずつ変わります。12に設定すると1オクターブ高く、-12に設定すると1オクターブ低い音が出ます。初期値は0です。

設定を初期値(0)にもどすときは、「#」と「b」ボタンを同時に押してください。

#### ●C(ド)の音を半音4つ上げてE(ミ)を出すには



#### ●キーの高い人、低い人への伴奏



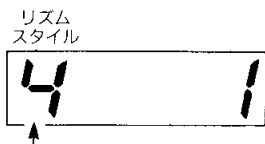
同じ弾き方で声の高い人、低い人のどちらにも伴奏が合わせられます。

\*アルファベットのドレミ…(ODE…)がよくわからない人は、P18「アルファベットの音名になれよう」をご覧ください。

## リズムスタイルカード

### 1 リズムスタイルを選ぶ

リズムスタイル **4 ポップバラード** を選ぶには

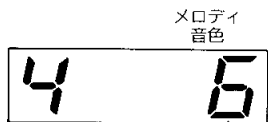


リズムスタイル選択ボタン(+)を  
押して団を出す

◆演奏の途中でもリズムスタイル  
をかえられます

### 2 メロディ音色を選ぶ

音色 **6 バイオリン** を選ぶには



メロディ音色選択ボタン(+)を  
押して団を出す

◆演奏の途中でも音色をかえら  
れます

### 3 スタート/ストップ

このボタンを押すとリズムがスタートします。自動伴奏モードを  
使わないで弾くときに使ってください。

リズムを止めるときはもう一度このボタンを押します。

### 4 自動伴奏モード (→P18)

伴奏をやさしく行なうモードです。フィンガードコードとシング  
ルフィンガーコードの2つがあります。どちらかの自動伴奏モー  
ドを選んでください。くわしくは18ページからの『自動伴奏モー  
ド』を見てください。

### 5 シンクロスタート

自動伴奏をスタートさせるボタンです。自動伴奏用の鍵盤を押す  
と同時にリズムが鳴りだします。

◆シンクロスタンバイを解除したいときは、もう一度シンクロス  
タートボタンを押してください。

### 6 イントロ機能

それぞれのリズムスタイルにあらかじめ用意された「イントロ」  
と呼ばれる1小節分の前奏パターンを鳴らします。イントロに続  
いてリズムがスタートします。

自動伴奏モードを選んであれば、続いて自動伴奏が演奏できます。

### 7 フィルイン機能

演奏中にこのボタンを押すと、「フィルイン」と呼ばれる、通常  
のリズムとは少し変わった1小節分のドラムによるバックングパ  
ターンを鳴らすことができます。

### 8 テンポをかえるには

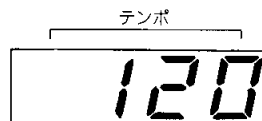
リズムスタイルにはそれぞれ決まったテンポが設定されています  
が、自分に合ったテンポにかえることができます。

◆テンポボタンを押すとディスプレイにリズムのテンポが表示さ  
れます。

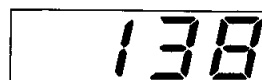
◆演奏途中でリズムスタイルをかえても、設定したテンポはその  
ままで変わりません。

「+」と「-」ボタンを同時に押すと、最初の設定にもど  
ります。

テンポを **138** にかえるには



テンポボタン(+)を  
押し続ける

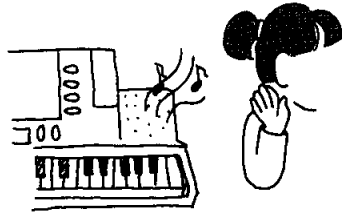


◆およそ2秒後にリズム  
スタイル、メロディ音  
色の表示にもどります。  
◆演奏の途中でもテンポ  
をかえられます

## ソングカード

### 1 曲を聞こう

ソングスタート/ストップボタンは曲を始めるとき、曲を止めるときに使います。  
曲をよく聞いておぼえよう。

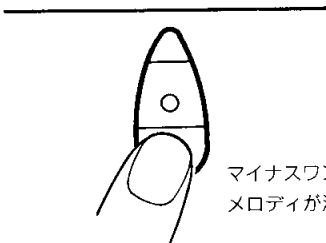


ソングスタート/ストップボタンを押すと曲が始まります

### 2 メロディを止める

マイナスイオンボタンで曲のメロディを消して楽器の伴奏に合わせて自分でメロディを弾きましょう。  
◆マイナスイオン機能はボタンを押すごとにオン、オフが切りかわります。  
◆曲を止めるときはソングスタート/ストップボタンを押します。

#### マイナスイオン



マイナスイオンボタンを押すとメロディが消えます

### 3 メロディの音色を選ぶ

右側の4つの音色ボタンの中からメロディに使う音色を選んでください。  
どのメロディ音色も選ばないときは、各曲のプリセット音色になります。  
また、現在選んでいる音色ボタンをもう一度押すと、LEDが消え(音色ボタン4つとも)プリセット音色にもどります。

#### ●メロディ音色

- P.....ピアノ
- O.....オルガン
- C.....クラリネット
- T.....トランペット
- G.....ギター

### 4 自動伴奏モードを選ぶ(→P18)

伴奏をやさしく行なうモードです。フィンガードコードとシングルフィンガーコードの2つがあります。どちらかの自動伴奏モードを選んでください。(はじめは、フィンガードコードが選ばれています)  
くわしくは18ページからの『自動伴奏モード』を見てください。

#### ●自動伴奏モード

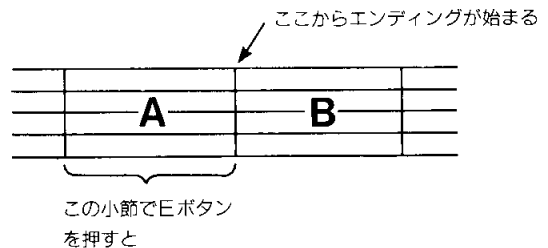
- F.....フィンガードコード→P22
- S.....シングルフィンガーコード→P19

### 5 I (イントロ)機能(→P19、22)

自動伴奏をスタートさせるボタンです。それぞれの曲にあらかじめ用意されたイントロ(前奏)を自動演奏します。イントロに続けて自動伴奏のコードを弾いてください。  
自動伴奏モードを選んであるので、続いて自動伴奏が演奏できます。

### 6 E (エンディング)機能(→P19、22)

自動伴奏モードの演奏中にこのボタンを押すと、エンディングが自動演奏されたのちにストップします。  
下図のA小節内でE(エンディング)ボタンを押すと、次の小節(B)からエンディングが始まります。  
◆ソングスタート/ストップボタンを押すと、エンディングをしないうで曲が止まります。



### 7 テンポをかえる

それぞれの曲には決まったテンポが設定されていますが、同じ曲でも練習の段階で弾きやすいテンポがあります。自分に合ったテンポで曲を弾きましょう。

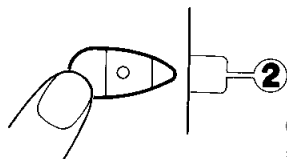
① クイズ(ゲーム)スタート

よく聞こう



③ わかった

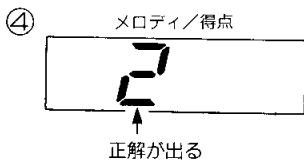
ボタンで答える



①~③(または①~⑩)のボタンで答える

正解の表示

(たとえばメロディクイズカードの場合)



正解が出る

⑥ 5問終わって

5問ぜんぶ正解すると



満点ファンファーレが鳴ります

**遊び方**

- ①クイズ(ゲーム)カードをセットしてスタートボタンを押します。
- ②クイズが始まります。うまく聞き取れなかった問題はもう一度ボタンで何度でもくり返し聞くことができます。
- ③クイズに答えます。

もう一度 ボタンで  
くり返し聞こう

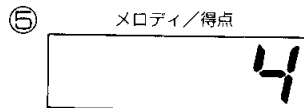


② わからない

もう一度聞こう

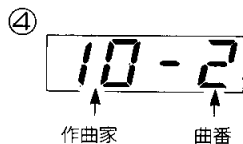
- ④1問ずつ正解がディスプレイに表示されます。正解すると“ピンポン”、はずれると“ブー”音で結果を知らせます。
- ⑤ディスプレイに正解が出たあとで、合計得点が表示されます。

得点の表示



得点にかわる(1問2点)

(作曲家クイズカードの場合)



作曲家 曲番

ミュージックアラウンドザワールドクイズ、作曲家クイズは答えが、1つの地域または、1人の作曲家に2曲ずつ入っているので、このような表示になります。

⑥問題は5問出されます。全問正解の場合には「満点ファンファーレ」が演奏されます。

◆途中でクイズ(またはゲーム)を終わるときは、クイズ(ゲーム)スタート/ストップボタンを押してください。

## ミュージックアラウンドザワールドクイズカード

世界の10の地域から音楽を集めました。曲を聞いて地域を当ててください。

「この地域の曲だったのか!」と曲の知識を深めてください。

地域	曲1	曲2
アメリカ	峠のわが家	線路は続くよどこまでも
メキシコ	シェリト・リンド	ラ・クカラーチャ
ハワイ	アロハ・オエ	タフワフワイ
イギリス	蛍の光	ロンドン橋
スイス	おおブレネリ	ホルディリディア
スペイン	愛のロマンス	ラ・パロマ
ドイツ	ローレライ	もみの木
日本	さくら さくら	荒城の月
フランス	アビニョンの橋の上で	きらきら星
イタリア	オオ・ソレ・ミオ	サンタルチア

## メロディクイズカード

1つの曲を8つのパートに分けてクイズにしました。

音符の長さに着目してメロディをさがしてください。

クイズがむずかしいと言う人は、元の曲の譜面をソングカードであらかじめ見てクイズにトライしてもOKです。

◆ソングスタート/ストップボタンを押すとクイズに使われた曲が演奏されます。

## リズムスタイルクイズカード

『いとしのポニー』をいろいろなリズムスタイルで編曲してあります。

曲の雰囲気かどのようにかわったか1つ1つのリズムスタイルを楽しみながらクイズに答えてください。

### リズムスタイル

#### 1 タンゴ

南米のアルゼンチンで生まれたダンス音楽。20世紀初めにヨーロッパに渡り発達したものをコンチネンタルタンゴという。

#### 2 ワルツ

19世紀にヨーロッパで愛好された3拍子系のダンス音楽。その踊りは円形を描きながら踊る。

#### 3 スウィング

スウィングジャズともいう。1930、40年代に流行した躍動感あふれる音楽。

#### 4 カントリー

アメリカに移り住んだヨーロッパ人が、故国の民謡をもとにアメリカ風に生み出した音楽。郷土愛や日常生活を歌にしたものが多い。

#### 5 ボサノバ

1960年代初めにブラジルのサンバがジャズの影響を受けて変化した軽音楽。

#### 6 サンバ

ブラジルの音楽。アフリカの音楽をもとに生まれた音楽でカーニバルの行進曲として発達してきた。

#### 7 マーチ

むかし軍隊の行進に使われた音楽が、ドラムを中心に発達した行進曲。

#### 8 チャチャ

19世紀後半にキューバで生まれ流行したダンス音楽。

#### 9 ロック

1950年代半ばにアメリカで生まれたロックンロールを原点とするポピュラー音楽。

#### 10 ポルカ

1830年頃、ボヘミア(現在のチェコスロバキアの西部の地方)で生まれた軽快なダンス音楽。

## リズムクイズカード

いろいろなリズムパターンの中から正解を当ててください。  
左下のタムタムまたはシンバルボタンで、問題で使う楽器の音を選びます。

### リズムを当てるヒント

問題に出るリズムは1小節だけです。  
まず出だしのリズム(2分の1小節ぐらい)をよくおぼえて半分だけでも当ててみよう。次のステップとして、残りの半分のリズムもおぼえてみましょう。

## 作曲家クイズカード

クラシックの作曲家10人の代表曲が2曲ずつ入っています。曲を聞いて作曲家を当ててください。  
プロフィールも参考に。

### プロフィール

#### 1 J.S. バッハ

(ヨハン・セバスティアン・バッハ、1685~1750、ドイツ生まれ)  
多くの音楽家を出している家系に生まれた。兄にバイオリンやオルガンの演奏を学び、各地の宮廷、教会で奏者になる。のちに宮廷楽長となる。作品には、ミサ曲などの宗教音楽やソナタ、協奏曲などの管弦楽曲が多い。  
ベートーヴェン、ブラームスと共に名まえがBから始まることからドイツの「3大B」と呼ばれる。

#### 2 G.F. ヘンデル

(ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル、1685~1759、ドイツ生まれ)  
ドイツ、イタリアで音楽活動をしたのち、25才のときにロンドンに渡り後半生をイギリスで暮らす。作品は器楽曲のほかに多くのオペラ(歌劇)を作る。明るく分かりやすい曲が多い。

#### 3 F. J. ハイドン

(フランツ・ヨーゼフ・ハイドン、1732~1809、オーストリア生まれ)  
はじめ教会の少年聖歌隊に入るが、のちに苦勞の未貴族の楽長となる。交響曲のスタイルやソナタ形式など古典派音楽のスタイルを作り上げた。作品には交響曲、弦楽四重奏曲など。

#### 4 W.A. モーツァルト

(ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト、1756~1791、オーストリア生まれ)  
幼いときから音楽の神童と言われドイツ、フランス、イギリスと各地へ演奏旅行をして評判になる。35才の短い一生であったが、交響曲、協奏曲、室内楽、歌劇などあらゆる分野で優れた作品を残している。

#### 5 L.V. ベートーヴェン

(ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン、1770~1827、ドイツ生まれ)  
21才のときにウィーンに出てピアニストとして名声を高める。ウィーンではハイドンなどに師事し作曲の勉強をする。しかし、だんだんと耳が聞こえづらくなり、最後には聞こえなくなってしまった。初期の作品はハイドンやモーツァルトの影響を強く受けているが、次第にベートーヴェン自身のスタイルを確立していった。9つの交響曲をはじめ、弦楽四重奏曲、ピアノソナタなど多くの傑作を残した。

#### 6 F. シューベルト

(フランツ・シューベルト、1797~1828、オーストリア生まれ)  
ウィーンで音楽教育を受ける。17才のときに歌曲を作り始め600曲をこえる独唱用の歌曲を作った。歌曲のほかに交響曲や室内楽がある。

#### 7 F.F. ショパン

(フレデリック・フランソワ・ショパン、1810~1849、ポーランド生まれ)  
20才のときウィーンへの演奏旅行をし、その後パリで音楽活動をする。ショパン自身当時を代表するピアニストであり、多くのピアノ曲を残している。

#### 8 R. シューマン

(ローベルト・シューマン、1810~1856、ドイツ生まれ)  
大人になってピアニストとしての勉強を始めるが、練習のやり過ぎで指を痛め演奏家をあきらめ作曲家となる。作品にはピアノ協奏曲をはじめとする多くのピアノ曲や交響曲がある。

#### 9 J. ブラームス

(ヨハネス・ブラームス、1833~1897、ドイツ生まれ)  
20才のときにシューマンに演奏を認められ世に紹介された。ブラームスの作品は構成力に優れ古典派的な格調の高さが見られる。4つの交響曲のほかピアノ、バイオリンのための協奏曲などがある。

#### 10 P. チャイコフスキー

(ピョートル・チャイコフスキー、1840~1893、ロシア生まれ)  
ロシアの音楽学院に学ぶが、ドイツ・ロマン派の音楽の流れをひくともにもスラブの特性も表現する。作品は5つの交響曲のほか、特にバレエ音楽に感情表現豊かな傑作が残っている。

## 楽器クイズカード

オーケストラを代表する楽器を当てるクイズです。それぞれの楽器の音の高さや音色(ねいろ)に気をつけてクイズに答えてください。

### 楽器について

#### 1 トランペット

金管楽器のひとつ。バルブが3つ付いている。音の特長は高域は力強く、中域ではもの悲しさ、バラエティーに富んでいる。管弦楽や吹奏楽によく使われる。

#### 2 クラリネット

縦型の木管楽器。リードと呼ばれる木製の小片を振動させることで音を出す。ソプラノ、アルト、バスなどがある。音域は広く、表現力が豊かである。

#### 3 フルート

木管楽器のひとつ。アルト、バスフルートなどがある。音域は3オクターブにわたり、柔らかな中域、きらびやかな高域と多彩な音色を持っている。

#### 4 ピアノ

鍵盤楽器のひとつ。本体の中に弦を張りその弦をたたくことで音を出す。現在では、電氣的に音を出すピアノも普及している。

#### 5 ハープ

撥弦楽器のひとつで多数の弦を持つ。音色はきらびやかで、ペダルで音程を調節する。

#### 6 バイオリン

撥弦楽器のひとつ。胴に弦を4本張り、弦を弓でこするなどして演奏する。表現力が豊かで、クラシックだけでなく、音楽全般に広く使われている。

#### 7 チューバ

金管楽器のひとつ。管楽器や吹奏楽の低音部に使用される。丸みのある重厚な音色を出す。

#### 8 オーボエ

2枚のリードを持つ木管楽器。管弦楽では高音のパートを受け持つ。

#### 9 ホルン

金管楽器のひとつ。オーケストラでは中音域を受け持つ管楽器のひとつである。木管に似た柔らかな音色に特長がある。開口部に右手を深く出し入れすることによって音の調節をする。

#### 10 コントラバス

最低音を担当する4弦の弦楽器。クラシックでは弓を使った奏法。このクイズでは指で弦をはじく奏法。

## 音あてゲームカード

楽器から問題の音が出ます。鍵盤を使ってどの音か当てましょう。レベルをいろいろかえてゲームを楽しんでください。

◆ゲームの音色は、はじめはピアノの音色になっていますが、音色ボタンを使ってかえることができます。

### 出題範囲

ゲームスタート/ストップボタンを押したあとに、下図の鍵盤が「ポロロロ……」と鳴って出題範囲を知らせます。



### レベル設定

音かずボタン、キーボタンを使ってゲームのレベルを設定します。

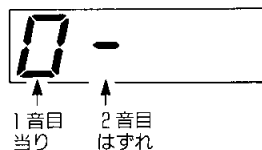
- 音かずボタン  
ゲームに使われる音の数を決めます。
- キーボタン  
ゲームに使われる鍵盤が「白鍵」だけか「白鍵と黒鍵」の両方か決めます。

### 音あての判定と得点

押して答えた鍵盤の音が当たっていれば「0」が、はずれると「-」がディスプレイに表示されます。

2音ゲームは2音とも、3音ゲームは3音とも当てないと正解にはなりません。

〈2音ゲームの場合〉



得点 0

この場合、2音ゲームなのにはじめの1音しか当たらなかったため、正解にはなりません。(得点0)





## シンセサイザーカード

### 1 もと音色選択ボタンを押す

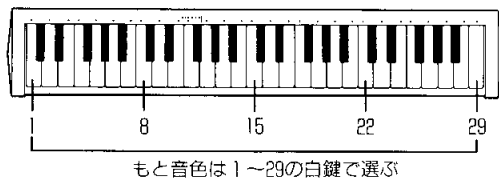
もと音色選択のモードに入ります。

### 2 もと音色を白鍵で選ぶ

もと音色は下図の白鍵で選びます。

音を作るコツは、「もと音色にどれを選ぶか」です。

シンセサイザーカードでは、6つのパラメーターを使って音を作っていますが、この6つのパラメーターだけでは、作れない部分も音色にはあります。そのため、作りたい音色に合わせてもと音色を選んでください。



### 3 もう一度もと音色選択ボタンを押す

再度、もと音色選択ボタンを押してもと音色を確定します。

### 4 音を作る(パラメーターの値をかえる)

パラメーターをかえてみよう。0~4までの5段階の設定ができます。

#### モジュレーション

音のやわらかさ、固さといった音質を設定します。

モジュレーションの値を上げると固めに、逆に下げるとソフトな感じになります。

#### スペクトラム

音の澄んだ、沈んだといった音色(ねいろ)に関する設定をします。

スペクトラムの値を上げるとキラキラとした感じに、下げると音が暗くなります。

#### アタック

音の立ち上がりの速さの設定をします。

アタックの値を上げると立ち上がりが速く、下げると立ち上がりが遅くなります。一般にギターやピアノは速く、フルートやオルガンは遅く立ち上がります。

#### ディケイ

音がいったん大きくなってから小さくなる速さを設定します。

ディケイの値を上げるとマリンバ(大型の木琴)の音のように音が小さくなるのが速くなります。ディケイの値を下げるとバイオリンのように一度大きくなった音はなかなか小さくなりません。

#### ビブラート

音を小さくみにふるえさせます。

ビブラートの値を上げるとふるえ方が大きくなります。

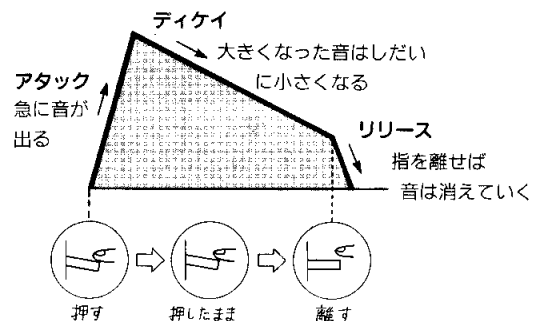
#### リリース

鍵盤から指を離したときに音が消えていく度合を表します。

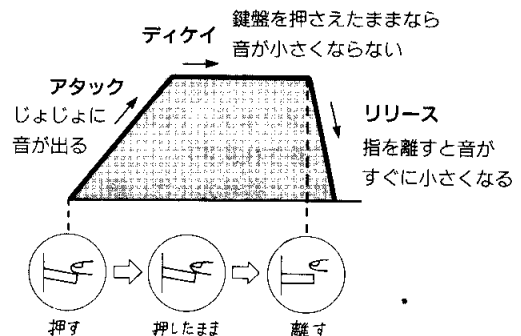
値が大きければ歯切れのよい音に、値を小さくすると余韻のある音になります。

パラメーターをかえるときに、次の2つのタイプをイメージして値を決めてみよう。

**ピアノタイプ** ……鍵盤を押すとすぐに音が出るが、しだいに音が消えていく音色。



**オルガンタイプ** ……鍵盤を押さえると、じょじょに音が大きくなっていき、押さえていけば音は鳴り続ける音色。



### 5 比較ボタン

比較ボタンは「現在作っている音」と、「もと音色」を聞き比べるためのボタンです。

ボタンを押すごとに、もと音色と作成中の音を交互に鳴らせます。

### 6 試聴ボタン

試聴ボタンは、作った音でデモ演奏を聞くためのボタンです。

### 7 データをメモする

作った音色は、もと音色を選びかえたりカードを交換すると、そのデータは消えてしまいます。気に入った音色ができたならデータを次ページの表にメモしておきましょう。



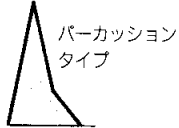
●シンセサイザーパラメーター表

〈例1 もと音色：3 ハーブシコード〉……ピアノタイプをオルガンタイプにかえると



パラメーター	1 モジュレーション	2 スペクトラム	3 アタック	4 デイケイ	5 ピブラート	6 リリース
値	1	4	2	0	0	2

〈例2 もと音色：27 バンフルート〉……スティールドラムのような音色



パラメーター	1 モジュレーション	2 スペクトラム	3 アタック	4 デイケイ	5 ピブラート	6 リリース
値	2	2	4	1	1	2

◆データメモ用

〈もと音色：                                 〉

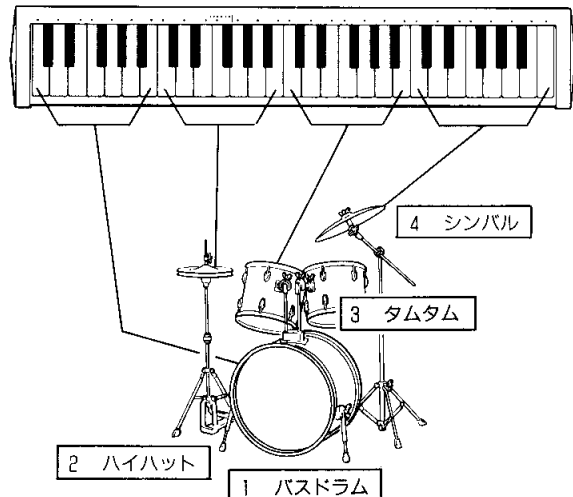
パラメーター	1 モジュレーション	2 スペクトラム	3 アタック	4 デイケイ	5 ピブラート	6 リリース
値						

## アルバムカード

- 1 ベートーベン、バッハ、モーツァルトの中からどのアルバムを聞くか選んでカードをセットします。
- 2 メロディ音色選択ボタン(+/-)でアルバムのための音色を選びます。
- 3 曲名を選曲ボタンで選びます。(そのままスタートすると自動的に1番の曲が演奏されます)  
複数の曲を選んでおくと番号の小さい順に曲が演奏されます。
- 4 スタート/ストップボタンを押して、アルバムをスタートします。  
◆演奏中の曲はLEDが点灯、演奏を待っている曲はLEDが点滅しています。  
◆トランスポーズ機能は8ページ、曲のテンポをかえるには9ページ、マイナスイオン機能は10ページの説明を参照してください。

## パーカッションカード

- 1 パーカッションボタン1~4で使用するパーカッションを選びます。  
◆同時に2ヶ以上選ぶことができます。  
◆選ばれたパーカッションのLEDが点灯します。  
◆再度パーカッションボタンを押すと、LEDが消えます。  
◆パーカッションを選んでもないオクターブでは、リズムスタイルごとに設定されている音色でメロディを弾くことができます。
- 2 リズムスタイルボタン5~8の4つの中からリズムスタイルを選びます。
- 3 スタート/ストップボタンを押すとリズムがスタートします。
- 4 リズムに合わせてパーカッションを鳴らしてください。  
◆テンポボタン(+/-)でリズムの速さをかえることができます。





## カラオケコンテストカード

- 1 曲名ボタンでチャレンジする曲を選びます。ボタンを押すと曲が始まります。
- 2 曲に合わせてマイクを使って歌います。または、鍵盤を使って弾いてください。
- 3 曲の最後までいくとファンファーレが鳴ります。ファンファーレ目指してがんばってください。
  - ◆テンポボタン(+/-)で曲の速さをかえることができます。
  - ◆トランスポーズボタン(#/b)で音の高さをかえることができます。

途中でカラオケコンテストをやめるときは、もう一度曲名ボタンを押してください。  
 現在コンテストをしている曲名ボタンを押せば、そのままコンテストは終了します。  
 別の曲名ボタンを押せば、コンテスト中の曲が止まり、押した曲のコンテストがスタートします。

## コードレッシンカード

- 1 根音ボタンC~Bで使う根音を選びます。
- 2 最初にメジャーコードが聞こえます。カードの図に従って鍵盤を押してください。
  - ◆正しい押鍵だけ音が出るようになっていきます。また、正しいコードが押されるまでディスプレイに0の数字が点滅して押鍵を待ちます。
  - ◆0が点滅している間は次のコードに進むことはできません。
- 3 正しいコードが押さえられると、次のマイナーコードが鳴ります。メジャーコードと同様にレッスンを進めてください。
- 4 メジャーコード、マイナーコード、7th(セブンス)コードと3つとも正しくコードが押さえられるとファンファーレが鳴ります。
- 5 途中でコードレッスンをやめるときは、もう一度根音ボタンを押してください。  
 現在レッスンしている根音ボタンを押せば、そのままレッスンは終了します。  
 別の根音ボタンを押せば、レッスン中のコードが止まり、押した根音のレッスンをスタートします。

# 自動伴奏モード

PSS-104ではリズムスタイルカード、ソングカードを使うとオートアカンパニメント(自動伴奏機能)を使って簡単にコードを弾くことができます。

自動伴奏機能には、普通にコードを押さえるフィンガードコードと指1本(または2本か3本)で押さえるシングルフィンガーコードの2種類があります。

## シングルフィンガーコード

コードを全部押さえなくてもコードが弾けるので、キーボードを習い始めの人にも簡単にコード伴奏ができます。

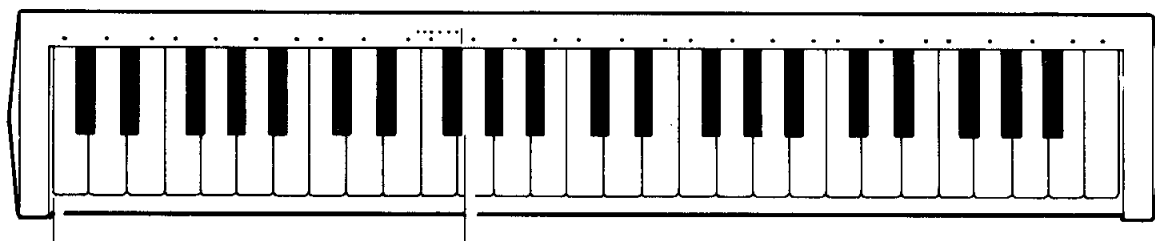
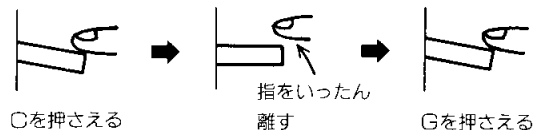
## フィンガードコード

コード演奏になれている人や、シングルフィンガーコードだけでは演奏できない曲に向いています。

自動伴奏モードは図2で示した自動伴奏専用の鍵盤を使います。また、鍵盤は図1のようにしっかりと押さえ、そして、コードをかえるときは鍵盤からいったん指を離して、次のコードの鍵盤を押してください。

指をしっかりと離さないとな器がコードをうまく検出できない原因となります。

## — 自動伴奏モードの鍵盤の押さえ方(コードCからGへ) —



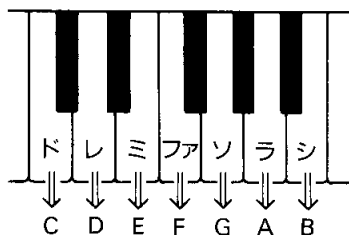
自動伴奏用鍵盤

図2

## アルファベットの音名になれよう

アルファベットの音名になれましょう。とくにはじめて楽器を手にする人は、今まではドレミファソラシドという「イタリア語」の音名になれ親しんできたことと思います。しかし、これからこのPSS-104で自動伴奏したり、ほかの楽器を演奏するためには、どうしてもアルファベットのドレミつまり「CDEFGAB」をおぼえていただきたいと思います(下図)。

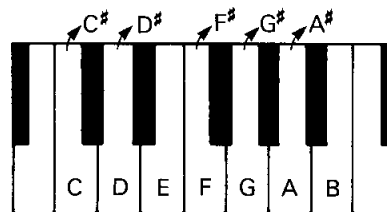
このCDE...はただ音名として使われるだけでなく、コード(和音)の名まえとしても使われます。PSS-104では鍵盤の上方にアルファベットの音名が表示してあります。シングルフィンガーコードなどでコード伴奏するときは、参考にしてください。初めはたいへんですが、とても便利なものですからガンバッテおぼえましょう。



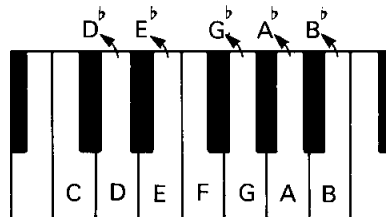
## #(シャープ)、b(フラット)の付いた音名の位置は?

音名(CDE...)に#またはbが付いている場合の鍵盤を押さえる位置は下図のとおりです。#が付いたら音名の右の鍵盤が、bが付いたら左の鍵盤がその音名の鍵盤になります。

### ● #(シャープ)が付く場合



### ● b(フラット)が付く場合



〈10人のインディアン〉をシングルフィンガーコードで伴奏する

















































♩=124

ひ とり ふ たり さ ん に ん の イ ン デ ア ン よ に ん ご に ん  
 ろ く に ん の イ ン デ ア ン し ち に ん は ち に ん く に ん の イ ン デ ア ン  
 テ リ ト ル イ ン デ ア ン ボ ー イ し ゅ う に ん く に ん は ち に ん の イ ン デ ア ン  
 し ち に ん ろ く に ん ご に ん の イ ン デ ア ン よ に ん さ ん に ん  
 ふ た り の イ ン デ ア ン ワ ン リ ト ル イ ン デ ア ン ボ ー イ

- 1 〈10人のインディアン〉のソングカードをセットします。
- 2 はじめにソングスタート/ストップボタンを押して曲を聞いてみましょう。
- 3 次にマイナスイオンボタンでメロディラインを消します。マイナスイオンボタンを押してからソングスタート/ストップボタンを押すと伴奏だけが自動演奏されます。伴奏に合わせて、メロディを練習します。(ここでは伴奏の練習がねらいですから、メロディ練習はほどほどにしてください。まだ、メロディが弾けなくてもだいじょうぶです。)次に進みましょう。
- 4 ソングスタート/ストップボタンを押して曲を止めます。
- 5 自動伴奏モードのS(シングルフィンガーコード)ボタンを押します。まだ、自動伴奏はできません。
- 6 I(イントロ)ボタンを押します。楽譜のはじめの部分に付いている I マークのイントロ(前奏)を自動演奏します。
- 7 続いて、楽譜を見てメロディを口でハミングしながら、コードの名前(たとえばCとかG7など)の付いている所で、シングルフィンガーコードを押さえます。
- 8 同じコードが続く小節(楽譜の矢印の小節)はコードを押さえる必要はありません。自動伴奏が続けて伴奏をします。
- 9 曲のうしろの部分に付いている E マークの所でエンディングボタンを押します。するとエンディングの自動演奏がはじまり、エンディングが終わるとともに曲も終わります。

〈シングルフィンガーコードの練習〉

●シングルフィンガーコード一覧表

メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード	マイナーセブンスコード
C 	Cm 	C7 	Cm7 
C# (D♭) 	C#m (D♭m) 	C#7 (D♭7) 	C#m7 (D♭m7) 
D 	Dm 	D7 	Dm7 
D# (E♭) 	D#m (E♭m) 	D#7 (E♭7) 	D#m7 (E♭m7) 
E 	Em 	E7 	Em7 
F 	Fm 	F7 	Fm7 
F# (G♭) 	F#m (G♭m) 	F#7 (G♭7) 	F#m7 (G♭m7) 
G 	Gm 	G7 	Gm7 
G# (A♭) 	G#m (A♭m) 	G#7 (A♭7) 	G#m7 (A♭m7) 
A 	Am 	A7 	Am7 
A# (B♭) 	A#m (B♭m) 	A#7 (B♭7) 	A#m7 (B♭m7) 
B 	Bm 	B7 	Bm7 

シングルフィンガーコードの押さえ方

シングルフィンガーコードは根音(アルファベットの書いてある鍵盤)とそれより左側にある黒鍵や白鍵を同時に押すことでコード(和音)を演奏する機能です。上の表に書いてある押さえ方は1

つの例ですから、自分が押さえやすいように、また、次のコードに簡単に移れるようにアレンジして使ってください。

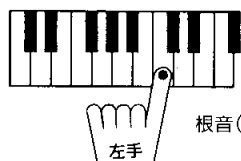
〈メジャーコード〉

指1本で、根音(アルファベットの書いてある鍵盤)を押してください。

〈マイナーコード〉

指2本で、根音とそれより左にある黒鍵(どれでもよい)をいっしょに押してください。

(Cの1例)



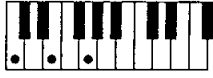


















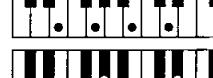





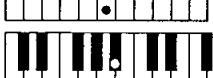






















根音(C)を押さえます。

(Cmの1例)



根音と黒鍵を押さえます。

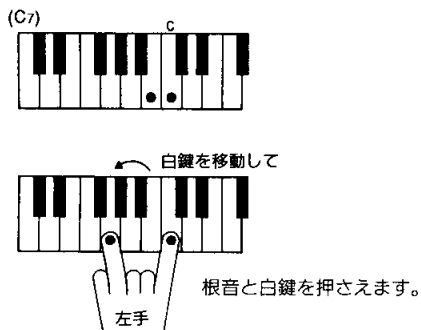
●フィンガードコード一覧表

メジャーコード	マイナーコード	セブンスコード	マイナーセブンスコード
C 	Cm 	C7 	Cm7 
C# (Db) 	C#m (Dbm) 	C#7 (Db7) 	C#m7 (Dbm7) 
D 	Dm 	D7 	Dm7 
D# (Eb) 	D#m (Ebm) 	D#7 (Eb7) 	D#m7 (Eb7m) 
E 	Em 	E7 	Em7 
F 	Fm 	F7 	Fm7 
F# (Gb) 	F#m (Gb7m) 	F#7 (Gb7) 	F#m7 (Gb7m7) 
G 	Gm 	G7 	Gm7 
G# (Ab) 	G#m (Ab7m) 	G#7 (Ab7) 	G#m7 (Ab7m7) 
A 	Am 	A7 	Am7 
A# (Bb) 	A#m (Bb7m) 	A#7 (Bb7) 	A#m7 (Bb7m7) 
B 	Bm 	B7 	Bm7 

〈セブンスコード〉

指2本で、根音とそれより左にある白鍵(どれでもよい)をいっしょに押してください。

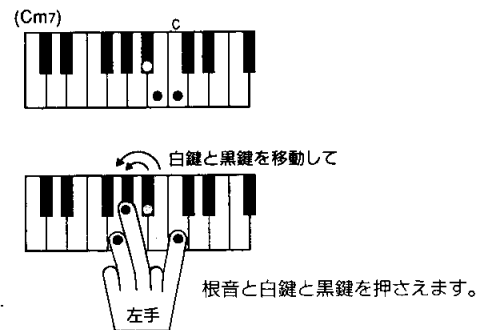
(C7の例)



〈マイナーセブンスコード〉

指3本で、根音とそれより左にある白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)をいっしょに押してください。

(Cm7の例)



〈線路は続くよどこまでも〉をフィンガードコードで伴奏する

The musical score is written in treble clef, 4/4 time, with a tempo of 124. It consists of four staves of music. The first staff starts with a tempo marking and a box labeled 'I'. The second staff has a 'G' chord with an arrow pointing to the first string. The third staff has a 'D7' chord with an arrow pointing to the second string. The fourth staff ends with a box labeled 'E' and a '2' indicating a double bar line.

- 1 〈線路は続くよどこまでも〉のソングカードをセットします。
- 2 はじめにソングスタート/ストップボタンを押して曲を聞いてみましょう。
- 3 次にマイナスワンボタンでメロディラインを消します。マイナスワンボタンを押してからソングスタート/ストップボタンを押すと伴奏だけが自動演奏されます。伴奏に合わせて、メロディを練習します。  
(ここでは伴奏の練習がねらいですから、メロディ練習はほどほどにしてください。まだ、メロディが弾けなくてもだいじょうぶです。)次に進みましょう。
- 4 ソングスタート/ストップボタンを押して曲を止めます。
- 5 自動伴奏モードのF(フィンガードコード)ボタンを押します。  
まだ、自動伴奏はできません。
- 6 I(イントロ)ボタンを押します。楽譜のはじめの部分に付いている I マークのイントロ(前奏)を自動演奏します。
- 7 続いて、楽譜を見てメロディを口でハミングしながら、コードの名前(たとえばGとかCなど)の付いている所で、フィンガードコードを押さえます。
- 8 フィンガードコードの鍵盤の押さえ方は、普通のコードの押さえ方と同じです。しかし、自動伴奏モードになっているときは、正しく押さえたコードしか認めないので、間違えてコードを押しても音は鳴りません。
- 9 同じコードが続く小節(楽譜の矢印の小節)はコードを押さえる必要はありません。自動伴奏が続けて伴奏をします。
- 10 曲のうしろの部分に付いている E マークの所でエンディングボタンを押します。するとエンディングの自動演奏が始まり、エンディングが終わるとともに曲も終わります。

〈フィンガードコードの練習〉

The diagram shows four guitar chords: G, C, Cm, and G. Below each chord name is a keyboard diagram showing the notes to be pressed. The G chord diagram shows the 3rd, 2nd, and 3rd strings. The C chord diagram shows the 2nd, 3rd, and 4th strings. The Cm chord diagram shows the 2nd, 3rd, and 4th strings with a flat sign over the 3rd string. The final G chord diagram shows the 3rd, 2nd, and 3rd strings.



# もっとパワーのある音で演奏したいときは

PSS-104はサイドのヘッドホン/AUX端子を使ってステレオなどに接続して、より大きな音で演奏したり、演奏をテープに録音したりできます。

次の手順に従って接続してください。

①PSS-104とステレオの電源がオフになっているのを確認します。このときステレオの音量はしぼっておきます。

②オーディオ接続コード(ステレオ出力用)を用意して、まずPSS-104の〈HEADPHONES/AUX.OUT〉端子とステレオの〈LINE IN〉または〈AUX IN〉端子などにつなぎます。

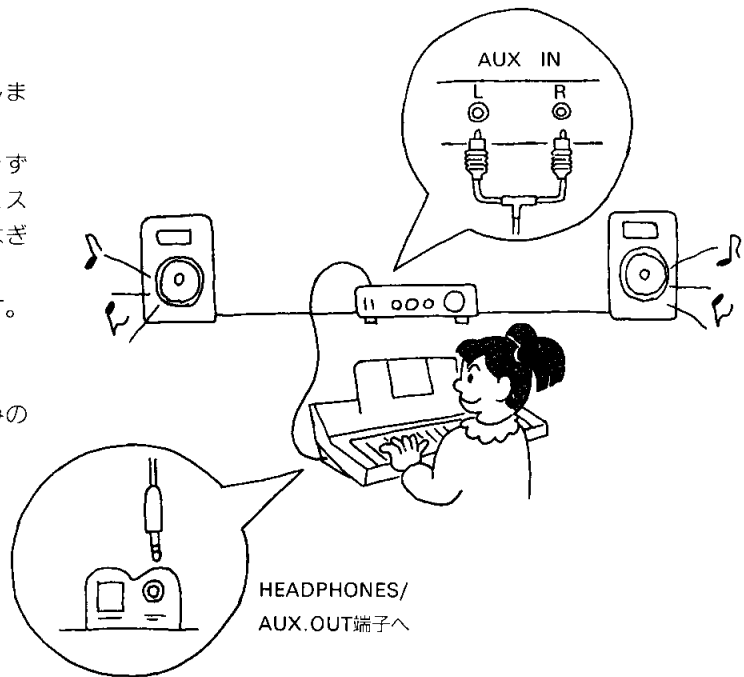
◆モノラル出力用のオーディオ接続コードもご使用になれます。

③PSS-104の電源を入れます。

④ステレオの電源を入れます。

⑤PSS-104を演奏しながらステレオの音量を上げます。好みの音量で演奏してください。

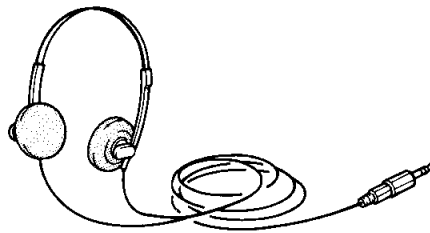
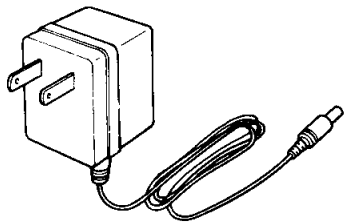
◆PSS-104でも音量の調節はできます。



## オプション(別売品)のご紹介

●電源アダプター(PA-3 : 2,000円)

●ステレオヘッドホン(HPE-3 : 3,000円)



※表示の価格には、消費税は、含まれません。

# おかしいな?と思ったら

このような現象は故障ではありません。

現象	原因	解決方法
電源を入れたときや切ったときに「ポツン」と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません
スピーカーから音が出ない。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換してください。
	電源アダプターがコンセントからはずれている。	プラグをしっかりとコンセントに差し込んでください。
	音量が下がっている。	音量ボタンで音量を上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差し込んでいるため。	プラグを抜いてください。
	カートリッジが差し込まれていないか、しっかり入っていない。	電源を切って、カートリッジを正しく差し込んでください。
スピーカーから「ブーン」という音がする。	マイクの上にもものがのっている。または、マイクが裏返しになっている。	マイクの上のものを取りのぞいてください。また、マイクを所定の場所に置いてください。
音が小さくなったり、ひずむ。曲やリズムが何もしないのに止まる。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換してください。
ミュージックカードを入れてもカードの機能が使えない。	カードとミュージックカートリッジの色が違う。	カートリッジと同色のカードをお使いください。
	カード裏面のバーコードの部分が汚れている。	カードをきれいにしてお使いください。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	この楽器は同時に鳴らせる音が8音までです。9音以上になるとはじめに押した音から消えていきます。また、音色やカードによっては同時に4音または、1音しか鳴らせません。

# 仕様

---

## ◆鍵盤数

ミニ鍵盤49鍵(C1~C5)

## ◆同時発音数

最大8音

## ◆ミュージックカード

グリーン……30枚

ピンク……30枚

## ◆コントロール

電源(入/切)、デモ演奏 スタート/ストップ、音量(大/小)、  
機能ボタン(12コ)、4桁LEDディスプレイ

## ◆付属端子

電源アダプター用端子、ヘッドホン/AUX出力端子

## ◆メインアンプ出力

0.4W×2

## ◆スピーカー

7.7cm(4Ω)×2

## ◆定格電源

DC9V:単3乾電池6本

電源アダプターPA-3

## ◆消費電力

乾電池使用時:2.5W

電源アダプター使用時:5.3W

## ◆電池寿命

約5時間(連続デモ演奏)

## ◆寸法(幅×奥行×高さ)

608.5mm×273.5mm×136mm

## ◆重量

2.3kg(電池含まず/カートリッジ1コ含む)

## ◆付属品

単3乾電池6本、ミュージックカートリッジ2コ(ただし、1コは出荷時本体にセットされています)、ミュージックカード60枚(グリーン30枚、ピンク30枚)、取扱説明書、保証書